

分担金・拠出金の名称	国際機関評価ネットワーク(MOPAN)拠出金	平成28年度 予算額	15,070千円	総合 評価	B
拠出先の国際機関名	MOPAN (Multilateral Organization Performance Assessment Network)				
国際機関の概要	国際機関に対する主要な拠出国17か国が、共通の関心を有する国際機関の管理の効率性について、共同でアセスメントを行い、それぞれの各機関との対話の改善に資することを目的とし結成したネットワーク。OECD事務局に小規模な事務局を設置し、拠出した資金からコンサルタント企業を雇用してシステマティックな手法で合意された機関について文献調査、インタビューなどを通じてレビューし、結果を公表。我が国は、平成26年(2014年)後半から参加。				
評価基準		達成状況			
1. 当該機関等の専門分野における影響力・貢献		・MOPANは、国際機関の組織・運営の効率化を目的に参加17か国(2016年7月現在)が合同でアセスメントを行っており、主要ドナー国(米、英、仏、加、豪など)をはじめとするMOPAN参加国において、国際機関の評価を行う際には、当該国独自の評価を補完するものとして、MOPANのアセスメント結果を参照している他、当該国と国際機関の間の対話材料、国際機関のガバナンス強化に資するものとして活用されている(2015-16年は12機関のアセスメントを実施)。			
2. 我が国重要外交課題遂行における当該機関等の有用性(意思決定における我が国のプレゼンスを含む)		・MOPANの評価結果は外務省国際機関等に対する拠出の評価の際にも参照することとなっており、国際機関の内部評価・モニタリングを補完する外部機関によるアセスメントとして、国際機関の組織・財政マネジメントの改善に活用することは、我が国外交にとって有用。 ・我が国はメンバーとなった2014年度後半以降、アセスメントの対象の決定や手法の改善など、MOPAN運営委員会を通じて運営上の意志決定に参加している他、2015-2016年のアセスメント対象の12機関に関し、アセスメント報告書作成に際するヒアリングにも積極的に協力することで、我が国プレゼンス確保に努めている。			
3. 当該機関等の組織・財政マネジメント		・MOPANが実施するアセスメント結果については全てホームページ上で公表している他、毎年5月頃に、活用実績や財務状況などを記載した年次報告書を作成し、OECD理事会に報告するとともに、ホームページ上で公表している。 ・財務状況については、年に2、3回開催される運営委員会の機会を利用して参加国に適切に報告が行われている他、年次報告書において公表している。			
4. 当該機関等における邦人職員の状況		・2013年に、常設の小規模の事務局がOECDに設置され、2016年7月現在は5名の職員が勤務している。 ・2016年現在、邦人職員の採用はないが、当省及び関係省庁に対し随時空席情報について情報提供を行っている他、国際機関人事センター等を通じて、当該事務局ポストに関心のある邦人情報が寄せられた場合は、事務局に働きかけを行うなど、邦人職員の確保に努めている。			
5. 我が国拠出の執行管理、PDCAサイクルの確保		①計画段階(Plan): 年2、3回の運営委員会において、MOPANの毎年の作業計画の検討、承認。 ②実施段階(Do): MOPANによるアセスメントへの関与、モニタリング(2015-2016年は12機関のアセスメントを実施)。 ③評価段階(Check): 運営委員会で報告される活動報告・財務状況、年次報告書により、運営・活動の成果を評価。 ④フォローアップ(Act): MOPANアセスメントについて、MOPAN運営委員会等の機会を通じ、必要に応じて改善を提言。			
担当課・室名	ODA評価室				